

# 授業改善のポイント 第5学年

## 資料を正しく読み取る力を付ける

資料から必要な情報を抜き出し、関係付ける。

まず、資料を見方を教えます。表題（他にも出典、年など）を確かめ、項目と数値を見て、何が多くて、何が少ないのかを調べていきます。

これは「全校アンケートの結果①の」の表だね。表題は「体育館でやりたい遊び・運動」だ。多かった意見が、右から縦に並んでいるね。

- ★1位 ドッジボール 153人
- ★2位 バasketボール 132人
- ★3位 おにごっこ 81人
- ★4位 なわとび 65人
- ★5位 一輪車 40人

この学校は、ボール運動が人気だね。

全校アンケートの結果①  
「体育館でやりたい遊び・運動」  
多かった意見

五位	四位	三位	二位	一位
一輪車	なわとび (長なわ・短なわ)	おにごっこ	Basketボール	ドッジボール
四十人	六十五人	八十一人	百三十二人	百五十三人

**<A案>**  
やってよい遊び・運動

曜日	体育館 わり当て表
月	ボール運動
火	長なわ・おにごっこ
水	一輪車
木	長なわ・おにごっこ
金	ボール運動

2つのアンケート結果を生かして <A案>をつくっているね。

「遊び」で分けている。人気のあるボール運動が、月曜日と金曜日の2回もあるよ。一輪車は水曜日だ。この案なら、前よりも安全だよ。

全校アンケートの結果②  
「体育館の使い方」  
多かった意見

五位	四位	三位	二位	一位
五・六年生と遊びたい。(一・二年生)	Basketボールだけで遊びたい。	一輪車と他の遊びを分けてほしい。	同じ学年の人だけで遊びたい。	ドッジボールだけで遊びたい。
五十二人	七十三人	八十四人	百六十三人	百八十二人

遊びの種類はちがうけど、一位、三位、四位は、同じことを言っているよ。遊びや運動を分けてほしいということなんだね。

# 文章を正しく読み取る力を付ける

## ① 大切な文や言葉に線を引いたり、メモをしたりする。

どの人も、一文目で、自分の立場を言っているね。西田さんがA案だから「西田さんに賛成」ということはA案だ。「北川さんに反対」と言っている東山さんは、B案に賛成ということだね。

話合いの記録文を読むときは、それぞれの発言の一文目に注目させます。発言者の立場を示す大切な言葉が書かれていることが多いからです。

その際、大切な文や言葉に線を引いたり、「この人はA案だ」などメモを残したりしておく、全ての文を読み終わった後、整理がしやすくなります。

問題文には、説得力のある話し方や書き方のポイントも示されています。文章を読みながら、確認していくことが大切です。

○司会者	みなさんは、わり当て表のA案とB案、どちらに賛成しますか。全校の子どもたちが安全に使えること、全校の願いを生かしていること、などを考えて意見を發表してください。
<b>A案</b>	
★西田さん	わたしはA案が良いと思います。遊びや運動の種類で分けているからです。こうすると、ドッジボールをしている子と一輪車をしている子がいっしょになることがないから、安全に遊ぶようになると思います。
<b>A案</b>	
◆北川さん	ばくも西田さんの意見に賛成です。「全校アンケートの結果①」の「体育館でやりたい遊び・運動」を見ると、ア などボール運動に人気があることが分かります。そのボール運動を月曜日と金曜日の二回できるようにしているところがいいと思います。A案は全校の願いも生かしていると思います。
<b>B案</b>	
■東山さん	北川さんの意見に反対です。A案では、全校のみんなが同時にボール運動をすることになります。もしも、一年生と六年生がいっしょにドッジボールをしたら、こんざつするし、運動の力に差があってあぶないと思います。
<b>B案</b>	
●南野さん	B案は「アンケートの結果②」の中のイ という意見を生かしているの、とても良いと思います。わたしは、この意見を書いた人たちの気持ちが分かります。三年生の時、私は、ドッジボールをしたくて体育館に行きました。でも、すでに五・六年生の男子がいました。(中略)
<b>A案</b>	
★西田さん	わたしはB案に反対です。このわり当て表を作るようになったきっかけを思い出してください。体育館を前と後ろに分けたとしても、ウ ので、安全ではありません。

意見を述べる際は、まず立場をはっきりさせます。次に、理由を述べます。

「こうすると〇〇になると思う」という予想の文型を使っています。

資料を活用して、支持する立場の良さを述べています。

「もしも□□なら、△△だと思う」という予想の文型を使っています。

自分が体験したことを加えることで、より分かりやすく意見を述べています。

自分は、どちらの案に賛成しようかな。

② 資料から得た情報を整理し、  
自分の意見をもつ。

自分の立場を決める際、それぞれの立場のよさ、または問題点を整理しておくと考えやすくなります。

立場を決めたら、必要な情報を取り出し、意見文に構成していきます。

		良 さ	問題点
A 案	○ 遊びで分ける	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドッジボールをしている子と、一輪車をしている子がいっしょにならず、安全に遊べるようになる。(西田さん)</li> <li>・人気のあるボール運動が週に2回できる。(北川さん)</li> <li>・一輪車だけで遊べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校の子どもたちが集まるので、混雑する。だから危ない。(東山さん)</li> <li>・「同じ学年だけで遊びたい」という願いを生かしていない。</li> </ul>
B 案	○ 学年で分ける	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ学年の人だけで遊べる。(南野さん)</li> <li>・体育館の前と後ろに分けている。(東山さん)</li> <li>・高学年と低学年が一緒に遊べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな遊びが同時に行われるので、安全ではない。(西田さん)</li> <li>・「ドッジボールだけで遊びたい」などの願いを生かしていない。</li> </ul>

ぼくは、B案で書こう！

< B案の良さ >

① 同じ学年の人とたっぷり遊ぶことができる。

< B案の良さ >

② 体育館を前と後ろに分けて使うことができる。

< A案の問題点 >

・全校の子どもたちが集まって、危なくなる。

# 立場を明確にして記述する力を付ける

## ① 自分の立場を述べ、理由も示す。

文章を構成していく際は、「構成メモ」を活用することが有効です。下の表のように「はじめ」「なか」「おわり」の三部構成にし、選択した情報を当てはめていきます。

おわり	なか	はじめ
立場の表明 の 繰り 返し	理由②  理由①	立場の表明
④このように、 案の方が安全で良 いと思います。	③2つ目の理由は、 △△△ということ です。	①わたしは○案に賛 成です。理由は◇つ あります。

書くことを苦手に行っている児童には、各段落の書き出しの型を示します。「このように」などのつなぎ言葉は、説明文の学習と関係付け、自らの意見文に生かすように指導していきます。

自分の意見を読み手に分かりやすく伝えるには、段落を作るなど意図的に文章を構成していくことが大切になります。

今回は、第1段落で自分の立場を述べ、その理由を示していく型（双括型）が望ましい書き方といえます。

## ② 自分の体験や予想を書き加える。

資料や文章から考えたよさ、問題点だけでなく、自らの体験や予想を書き加えると、自分の意見がより分かりやすく伝えられることを例文を使って教えます。

「予想」の文を加えています。

ぼくは、B案に賛成です。  
なぜなら、B案は、使える曜日を学年で分けているからです。全校アンケートの結果から分かるように、「同じ学年の人だけで遊びたい」と思っている人が百六十人もいます。  
もしも、A案を使うなら、どの曜日もほかの学年とまざってしまうので、全校の願いを生かせないと思います。

「体験」の文を加えています。

わたしはA案に賛成です。理由は、二つあります。  
一つ目の理由は、曜日ごとによって良い運動や遊びを分けているからです。こうすると、ドッジボールをしている子と一輪車をしている子がぶつからず、安全に遊べるようになると思います。  
わたしたちの学校でも、このように分けて遊んでいます。決まった遊び以外のことをしないように、お互いに注意し合っています。